



トピックス

(1) 「ストレングスエルゴ 8/240」の学会展示会等への出展紹介

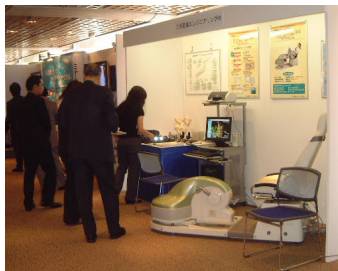
①第41回日本理学療法士協会全国研修会(於:アルカス SASEBO) 10/5-6

・テーマ「生活機能向上に対する理学療法技術」

研修会の様子は長崎県理学療法士会の下記ホームページに掲載されています。

http://www.npta.or.jp/kaiin/41th_zenken/zenkenhoukoku.htm

二日間にわたり約1400名の参加者がありまた、弊社ブースにも二日間にわたり約80名以上の方がお見えになり、弊社展示のストレングスエルゴ240と隣接して展示いただいたフクダ電子殿のストレングスエルゴ8の試乗体験をされました。



研修会のストレングスエルゴ240の展示状況

隣接したフクダ電子殿のストレングスエルゴ8の展示状況

②リハビリテーション・ケア合同研究大会 青森2006(於:ホテル青森、ウェルシティ青森) 10/5-7

・テーマ「心身機能・生活機能の再構築を目指して」

三日間にわたり参加者1400名、機器出展14社、発表演題504題にて開催されました。弊社ブースにも100名を超えるお客様がお見えになり、ストレングスエルゴ240を体験して頂きました。関連ホームページは下記になります。

<http://secure1.gakkai-web.net/gakkai/knt/reha/index.html>



リハビリテーション・ケア合同研究大会でのストレングスエルゴ240の展示状況



論文紹介

(1) 慶応義塾大学病院リハビリテーション科殿、慶応義塾大学医学部殿他により、ストレングスエルゴ240を研究用評価機材として御使用頂いた下記3稿の論文内容のポイントをご紹介します。

■八並光信 他:「造血幹細胞移植患者の運動耐容能と下肢進展筋力の関連性について」理学療法科学 20(4) 267-272 2005

・無菌室滞在期間などよりも下肢伸展筋力が、移植前後の運動耐容能の変化に最も影響している。
・無菌室内での柔軟体操主体の理学療法及び筋力強化訓練では、下肢筋力低下が防げないので、強化内容の見直しが必要と考えられる。

■八並光信 他:「造血幹細胞移植患者の廃用性症候群に対する理学療法について」理学療法科学 20(2) 133-138 2005

・無菌室内での柔軟体操主体の理学療法及び筋力強化訓練では、下肢筋力・運動耐容能・柔軟性の低下が防げない。
・運動耐容能の低下には、中枢性疲労と下肢筋力低下による筋疲労の影響が大きい。

■八並光信 他:「無菌室での理学療法頻度による効果の違い」川崎医療福祉学会誌 Vol.15 No.1 2005 227-235

・無菌室内における柔軟体操主体の理学療法及び筋力強化訓練の訓練頻度効果としては、毎日群と隔日群の差はなく、滞在期間長による筋力低下が要因であった。無菌室滞在日数が1日増えるごとに握力は-0.5~-0.6%低下し、下肢伸展筋力は-0.7~-0.9%低下する。

<評価用機材として御使用頂いた「ストレングスエルゴ240」のアピールポイント>

☀ 3稿とも下肢筋力維持訓練と評価の必要性/重要性をアピール

☀ 運動耐容能の評価には、トレッドミルやエルゴによる運動負荷試験が必要だが、患者への負担や検査に要する時間など考慮すると、全患者に適用することは困難。しかしストレングスエルゴ240の下肢筋力測定ならば、上記3稿の主要因である下肢筋力の評価が運動負荷試験と比較して簡便にできるので利便性・有用性に優れている。



あとがき

ついに10号を発行となりました。今回は論文の紹介記事を掲載いたしました。今後も引き続き、掲載希望の情報などをお寄せください。

発行元: 三菱電機エンジニアリング株式会社
産業システム事業部 制御技術部 ウェルネス課
〒486-0906 愛知県春日井市下町屋町字下屋敷 139
TEL (0568)-36-2064 FAX (0568)-36-2045